

団地イベントピックアップ！	4
私もだんち特派員	5
暴力対策協議会を開催	6
かんたんヨガ	7
簡単おうちレシピ／プレゼント	8

編集・制作 ㈱高速オフセット

団地
de
ミッケ!地域とつながる
集会所を子どもたちの居場所に

毎回テーマを決めて、団地生活の魅力を紹介する「団地deミッケ」。10月号は7月下旬～8月に、大阪・京都・兵庫・奈良の各団地で行われた『DANCHIつながるーむ～夏休みは団地で楽しもう！～』の様相を紹介します。

白鷺
こども食堂浜甲子園なぎさ街
防災スクール奈良学園前・鶴舞
交通安全教室

8月8日、奈良学園前・鶴舞では「キケンな目に遭わないためのルールを学ぼう!」と題して、奈良西警察署と帝塚山大学生による交通安全教室と、制服を着用しての記念撮影などが行われました。人形劇による交通安全教室は子どもたちから笑い声が聞こえるなど、楽しい雰囲気の中で横断歩道の渡り方を学びました。展示されたパトカーを前にした記念撮影では、皆自分の番が回ってくるのを今か今かと待ちわびている様子でした。

バラエティー豊かな
ワークショップも

UR西日本支社は、子どもの居場所提供や共働き世帯等の子育て負担の軽減の一環として、大阪府・京都府・兵庫県・奈良県の計14団地の集会所等で、『DANCHIつながるーむ～夏休みは団地で楽しもう!～』を開催。取り組み開始から3年目となる今年は、団地および近隣にお住まいの子どもを対象に、地域の企業などとともに開催するワークショップ、工作教室といった、家庭ではなかなか体験できない、さまざまな学び・遊びの講座や自習室の開放、こども食堂支援などを行いました。

3年目を迎え、地域
とのつながりを強化

8月9日、白鷺で「こども夢くらぶ」によるこども食堂がオープン。毎月2回実施しているこども食堂に、団地や近隣にお住まいの、子どもから高齢者まで、多様な世代の方々が集まり、牛丼やハヤシライスなどを味わいました。子ども達がいよいよ思いの時間を過ごせる場所「こどもらうんじ」として、期間中毎日開放された集会所では、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊んでいました。

8月19日、浜甲子園なぎさ街で「防災スクールで楽しみながら防災のノウハウを学ぼう!」を開催。ビニール袋を使った即席カップ作りや、防災紙芝居クイズ、地震の場面での行動を選ぶかによって、ケガのシールを貼られる「生存確率ゲーム」などが行われました。「机の下に隠れてもケガしちゃうの!」と大人も夢中になるほどの盛況ぶりでした。

その他にも南港ひかりのではセレッソ大阪の協力を得て、酒本憲幸アンバサダーと楽しむ夢授業が開催されるなど、さらにパワーアップした「DANCHIつながるーむ」。UR団地が単なる住まいの場ではなく、地域の人々がつながり、学び、育ち合う「居場所」としての役割を果たし始めています。

これまで行われたイベントの様相や、これからのイベント告知情報はこちらをチェック!(全てのイベントは網羅しておりませんのでご容赦ください)▼



※団地内限定イベントなどの告知は、各団地の掲示板や各戸投函チラシをチェック!

水漏れ・断水・停電などのトラブルがあった場合
24時間緊急事故時の連絡先

緊急事故受付センター

☎0570-004-001
(または ☎06-6969-2151)